

令和2年12月

大鹿村民の皆様

大 鹿 村
大鹿村議会
大鹿村教育委員会

「大鹿村民の私たちは誹謗中傷をしません」宣言について

師走の候、皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨今の新型コロナウイルス感染症による差別や偏見により、心を痛めている方が多くいる状況を鑑み、大鹿村としても村民の皆様が安心して暮らせるように取り組む必要があります。

そんな折、大鹿中学校生徒会が「私たちにできることは、差別や偏見を寄せ付けないワクチンを自分の心に打つこと」の信念のもと、「私たちは誹謗中傷をしません」の宣言を行い、10月1日に「宣言文」を携えて村長室を訪れ、宣言文の趣旨とそこに至るまでの経緯の報告がありました。さらに誹謗中傷をしない意思を示すシトラスリボンを役場職員分作って届けてくれました。こうした中学生の取り組みは、決して一朝一夕にできたものではなく、日頃から人権課題に向き合ってきたからこそできた活動であると思います。

大鹿村としても、中学生の取り組みに賛同し、「宣言」を出したいと思います。村全体でこの宣言を大切にし、大鹿村がより安心して暮らせる村になるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

シトラスリボンプロジェクトとは

新型コロナウイルス感染症に感染した方や医療従事者が、誹謗中傷を受けることなく、笑顔の暮らしを取り戻せる社会に。たとえ感染しても、「ただいま」「お帰り」と言い合えるまちになることを目指して、愛媛県で始まりました。シトラスリボンの3つの輪は、「地域」「家庭」「職場（または学校）」を表しています。

シトラスリボンを身に着けることは、「誹謗中傷をしない」という意志表示です。

詳しくは、大鹿村教育委員会までお問い合わせください。

☎電話：0265-39-2100



「大鹿村民の私たちは誹謗中傷をしません」宣言

新型コロナウイルス感染症に関わる差別や誹謗中傷により、辛い思いをしている人たちがいます。私たちは、これ以上悲しい思いをする人を出さないために、差別をなくさなければいけません。差別を繰り返さないためには、相手の立場に立ち、相手がどんな状況なのか、相手が何を考えているのか、また相手がどんな気持ちなのかを考える事が大切です。

しかし私たち自身も、感染症に対する不安や恐れから誰かを差別してしまっていることがあるのではないのでしょうか。だからこそ、自分の中にある差別する心に気づき、弱い自分と闘っていくことが必要です。今私たちにできることは、差別や偏見を寄せ付けないワクチンを自分の心に打っておくことです。

そこで、誹謗中傷を受け、傷つく人を出さないように、お互いを思い合うことができるように、大鹿村は、誹謗中傷をしないことをここに宣言します。

- ① 誹謗中傷をしない。人を責める言葉を言わない。
- ② 感染者を責める人がいたら、「責めないで！誰でもかかる可能性があるものだから」と一言物申す。
- ③ 感染した人を責めることに力を入れるのではなく、予防に力を入れる。村内外に関わらず、マスク着用や人との距離を取るなど、感染対策を続ける。
- ④ 感染した人、治った人、医療従事者に温かい言葉をかける。
- ⑤ 感染した人が一番辛い。感染した人をいたわり、その人の気持ちを考える。
- ⑥ 噂や個人情報を広めたり、それをインターネット上（SNS）で発信したりしない。
- ⑦ インターネット、ニュース、新聞などのメディアの本当かどうか分からない情報を鵜呑みにしない。拡散しない。
- ⑧ 自分のイライラや不安を鎮めるために、誰かを差別しない。
- ⑨ 自分の行動がどのような結果に繋がるか考え、もし間違った行動をとったと気づいたら、すぐに訂正する。
- ⑩ 村全体でこの考えを共有し、差別や偏見のない村を目指す。